

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和05年03月09日

計画の名称	かいてき・ニぎやか・エキ周辺整備												
計画の期間	令和02年度 ~ 令和03年度 (2年間)										重点配分対象の該当		
交付対象	蟹江町												
計画の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・進展する少子・超高齢化への対応として、町の北の玄関口であるJR蟹江駅周辺地区の公共交通の充実を図る。 ・JR蟹江駅周辺を歩行者が安全・安心に通行することのできるまちづくりを推進する。 ・駅周辺を整備することにより、魅力向上を図り、人口を増加させることで駅周辺の賑わいを推進する。 												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	1,292	A	1,243	B	0	C	49	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	3.79	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (R2当初)	中間目標値	最終目標値 (R3末)
1	公共交通(鉄道・コミュニティバス)の実績数値(人/日):公共交通利用者数を7,550人/日から7,560人/日に増加させる。 公共交通(鉄道・コミュニティバス)の実績数値(人/日) JR蟹江駅における1日当たりの鉄道利用者数及びコミュニティバス(オレンジコース、日曜便)における1日当たりのバス利用者数を集計する。	7550人	人	7560人
2	駅利用者のうち、踏切を利用する人の割合(%):JR蟹江駅利用者のうち踏切を利用する人の割合を30.5%から13.9%へ減少させる。 駅利用者のうち、踏切を利用する人の割合(%) JR蟹江駅の利用者のうち、踏切(須成踏切・東郊線踏切)を利用する人の割合を集計する。	31%	%	14%
3	駅周辺の住民の満足度:JR蟹江駅周辺住民の当該駅に対する満足度を27.3%から46.7%に向上させる。 駅周辺住民満足度(%) 駅周辺住民のJR蟹江駅に対する満足度をアンケート調査の実施により集計する。	27%	%	47%
4	駅周辺新築物件数(件/年):JR蟹江駅周辺の年間新築着工件数を12件/年から26件/年に増加させる。 駅周辺の新築物件数(件) JR蟹江駅周辺(駅から半径500m圏内)における年間新築物件数を、建築確認申請の申請件数から集計する。	12件	件	26件

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												R02	R03	R04	R05	R06				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
市街地整備事業	A13-001	都市交通	一般	蟹江町	直接	蟹江町	-	-	都市・地域交通戦略推進 事業(JR蟹江駅周辺地区)	自由通路、鉄道構造物(橋上 駅舎)等	蟹江町						1,243	2.20	-	
												小計						1,243		
											合計						1,243			

C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												R02	R03	R04	R05	R06				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
市街地整備事業	C13-001	都市交通	一般	蟹江町	直接	蟹江町	-	-	情報発信事業	情報発信事業	蟹江町						2	-		
		都市・地域交通戦略推進事業（JR蟹江駅周辺地区）（A-1）と一体的に実施することにより、公共交通等の利用促進を図る。																		
	C13-002	都市交通	一般	蟹江町	直接	蟹江町	-	-	乗降サイン・公衆用トイレ設置事業	乗降サイン・公衆用トイレ	蟹江町						47	-		
		都市・地域交通戦略推進事業（JR蟹江駅周辺地区）（A-1）と一体的に実施することにより、駅利用者の利便性の向上を図る。																		
											小計						49			
										合計						49				

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
事業に関わる全ての課による庁内の横断的な組織で検討し、事後評価を実施した。	令和4年度
	公表の方法
	町ホームページ
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・自由通路、橋上駅舎の整備や、乗降サインや公衆用トイレの設置によりJR蟹江駅周辺地区の公共交通の充実が図られ、JR蟹江駅の利用機会の増加・賑わいや活気の向上の効果の発現状況を統計資料による実績値や本年度実施した「JR蟹江駅の利用・整備事業に関するアンケート調査」「交通量調査」結果をもとに確認した。 ・「交通量調査」結果により、JR蟹江駅利用者のうち踏切を利用する人の割合が31%から7%まで減少することが確認され、自由通路が整備されたことによって歩行者が周辺の踏切を渡る必要性が少なくなり、安全・安心にJR蟹江駅周辺を通行できるようになった。 ・本年度実施した「JR蟹江駅の利用・整備事業に関するアンケート調査」では、JR蟹江駅周辺住民の当該駅に対する満足度が27%から75%まで増加し、JR蟹江駅の整備により以前と比べ魅力向上が図られた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
自由通路、橋上駅舎の整備により発現した効果をさらに促進するため、JR蟹江駅南側の駅前広場及び駅へのアクセス道となる都市計画道路南駅前線の整備を実施する。	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	公共交通利用者数を7,550人/日から7,560人/日に増加させる。		
	最終目標値	7560人	新型コロナウイルス感染症による行動制限の影響により、目標は達成されなかった。なお、本年度実施した「JR蟹江駅の利用・整備事業に関するアンケート調査」による「以前と比較しJR蟹江駅の利用機会が増えたか」という設問の平均得点は3.4点（「悪くなった」を1点、「よくなった」を5点とする5段階採点）であり、事業の効果が現れている。
	最終実績値	6197人	
2	JR蟹江駅利用者のうち踏切を利用する人の割合を30.5%から13.9%へ減少させる。		
	最終目標値	14%	自由通路が整備されたことにより、歩行者が踏切を横断する必要性が低くなったことで達成された。なお、本年度実施した「JR蟹江駅の利用・整備事業に関するアンケート調査」による「以前と比較しJR蟹江駅の安全性が向上したか」という設問の平均得点は3.69点（「悪くなった」を1点、「よくなった」を5点とする5段階採点）であり、事業の効果が現れている。
	最終実績値	7%	
3	JR蟹江駅周辺住民の当該駅に対する満足度を27.3%から46.7%に向上させる。		
	最終目標値	47%	自由通路、橋上駅舎の整備等により、JR蟹江駅の満足度は向上し達成された。なお、本年度実施した「JR蟹江駅の利用・整備事業に関するアンケート調査」による「以前と比較しJR蟹江駅周辺の魅力度は向上したか」という設問の平均得点は3.75点（「悪くなった」を1点、「よくなった」を5点とする5段階採点）であり、事業の効果が現れている。
	最終実績値	75%	
4	JR蟹江駅周辺の年間新築着工件数を12件/年から26件/年に増加させる。		
	最終目標値	26件	R2、R3と20件前後で推移しており一定数の新築着工はみられるものの、JR蟹江駅南側における新築着工件数がそれほど伸びなかったため、目標値は達成しなかった。なお、本年度実施した「JR蟹江駅の利用・整備事業に関するアンケート調査」による「以前と比較しJR蟹江駅周辺の賑わいや活気は向上したか」という設問の平均得点は3.17点（「悪くなった」を1点、「よくなった」を5点とする5段階採点）であり、事業の効果が現れている。
	最終実績値	21件	